

「アジアと一体となって発展する九州」の実現に向けた検討課題の決定 及び検討委員会の設置について

1 検討課題の決定

第20回九州地域戦略会議での議論を受け、平成24年9月に今後検討する課題（テーマ）を、「次世代産業育成のための具体的な取り組み（再生可能エネルギー）」とする議長案を提示、各委員に意見照会をした結果、多くの委員から賛同を得られた。

よって、今後の検討課題を「再生可能エネルギー」とする。

2 検討委員会の設置

検討課題決定を受け、具体的に検討を進める検討委員会を設置することとしたい。

(1) 設置目的

九州では再生可能エネルギーに関する様々な取り組みが始まっている。しかし、海洋エネルギー分野をはじめとして、産業化までには至っていないものも多い。

一方、太陽電池や風力など産業化が進んでいる分野では、中国や欧州の企業との市場獲得競争が激化しており、国際競争力の強化が大きな課題となっている。また、九州の地元企業の参入実績は限られており、企業の参入促進も大きな課題である。

こうした課題解決のため、九州地域戦略会議に「再生可能エネルギーの産業化に向けた検討委員会」を設置する。

(2) 検討テーマ

九州における再生可能エネルギーの産業化

(3) 検討対象とする再生可能エネルギー等

海洋、風力、地熱（温泉熱を含む）、中小水力、水素

※太陽光等その他のエネルギーについては、必要に応じて対象とする。

(4) 検討内容候補

- ・産業化に求められる研究・開発の九州における現状と今後のあり方
- ・工場等の立地促進のあり方の検討
- ・エネルギー生産装置等への地元企業参入促進のあり方の検討
- ・海外でのビジネス展開促進のための方策の検討
- ・規制緩和など産業化を促進するための制度の検討

(5) 検討体制

委員長：再生可能エネルギーを専門とする学識経験者

委員：各県再生可能エネルギー産業担当者

経済4団体および企業の再生可能エネルギー担当者

再生可能エネルギー関連の民間企業の担当者 等

事務局：〇〇県、九経連、九同友

(6) 検討期間

平成25年1月頃から1年間程度

(7) 予算（予定）

戦略会議予算（事業費）のうち、調査研究費の繰越金約289万円

以上